



## 2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年7月30日

上場会社名 富士変速機株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 6295 URL <http://www.fujihensokuki.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山本 浩司  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)蓮井 隆之 (TEL)058(271)6521  
 四半期報告書提出予定日 2021年7月30日 配当支払開始予定日 2021年9月13日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第2四半期の業績 (2021年1月1日～2021年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	3,131	△4.2	193	7.4	210	11.8	140	173.2
2020年12月期第2四半期	3,270	△10.6	180	△20.9	187	△22.9	51	△68.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	8.33	—
2020年12月期第2四半期	3.05	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	11,967	10,157	84.9
2020年12月期	11,475	10,059	87.7

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期10,157百万円 2020年12月期10,059百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	3.00	—	3.00	6.00
2021年12月期	—	3.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年12月期の業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,050	13.0	430	25.4	450	25.1	300	77.8	17.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	17,955,000株	2020年12月期	17,955,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	1,040,144株	2020年12月期	1,039,944株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	16,914,979株	2020年12月期2Q	16,915,101株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、中国等における需要回復に牽引され一部の業種で回復傾向がみられ、国内では新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が開始されたものの、4度目の緊急事態宣言が発出され変異ウイルスの拡大リスク等、景気の先行きが不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社におきましては、差別化戦略に基づく当社の強みや技術を活かした製品開発と生産体制の最適化を行い、いかなる事業環境の変化にも対応すべく原価低減活動と生産性の向上に努めてまいりました。

減速機関連事業では、顧客ニーズに応えた個別製品の開発による提案営業を進め、新規顧客獲得に注力するとともに、生産体制の改善等による収益獲得に努めてまいりました。

駐車場装置関連事業では、くし歯式の強みを生かした営業展開により新規開拓に取り組むとともに、既設物件に対する計画的な改修提案や付加価値提案を推進し、製造・施工コストの管理体制強化を進めることにより、受注・収益の獲得に努めてまいりました。

室内外装品関連事業では、生産・品質管理体制の強化を図り、収益改善に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,131百万円(前期比4.2%減)、営業利益は193百万円(前期比7.4%増)、経常利益は210百万円(前期比11.8%増)、四半期純利益は前期に計上した投資有価証券評価損の計上がなく140百万円(前期比173.2%増)となりました。

なお、セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### [減速機関連事業]

工作機械の受注回復の兆しが見えるなか、無人搬送台車駆動用減速機など、当社得意の個別製品の受注が堅調に推移したことにより、売上高は1,709百万円(前期比0.9%増)となりました。営業利益につきましては、売上高の増加や高付加価値の製品構成増加等により126百万円(前期比16.4%増)となりました。

#### [駐車場装置関連事業]

昨年度の大規模物件の反動に加え、新築工事の一部下期への工事日程変更などもあり、売上高は1,321百万円(前期比9.2%減)となりました。営業利益につきましては、製造・施工コストの管理体制強化など継続的な原価低減活動に努めましたが、売上高の減少等により79百万円(前期比4.0%減)となりました。

#### [室内外装品関連事業]

品質管理の徹底と生産性向上に取り組む、受注獲得に努めましたが、売上高は100百万円(前期比16.8%減)となりました。営業損益につきましても、継続的な原価低減に取り組むものの、売上高の減少により11百万円の損失(前期は10百万円の損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### [資産]

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ492百万円増加し11,967百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金が62百万円減少した一方で、現金及び預金が327百万円、未成工事支出金が93百万円、仕掛品が46百万円、製品が19百万円、原材料及び貯蔵品が14百万円増加したことにより、前事業年度末に比べ468百万円増加し8,234百万円となりました。

固定資産は、減価償却等により有形固定資産が7百万円、無形固定資産が6百万円減少した一方で、長期前払費用を含むその他の項目が24百万円、保有株式の株価上昇等により投資有価証券が11百万円増加したことで、前事業年度末に比べ23百万円増加し3,732百万円となりました。

## [負債]

当第2四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ393百万円増加し1,809百万円となりました。

流動負債は主に、支払手形及び買掛金が287百万円、未払金を含むその他の項目が53百万円、未払法人税等が18百万円増加したことにより、前事業年度末に比べ358百万円増加し1,404百万円となりました。

固定負債は主に、退職給付引当金が17百万円、長期リース債務を含むその他の項目が12百万円増加したことにより、前事業年度末に比べ34百万円増加し404百万円となりました。

## [純資産]

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ98百万円増加し10,157百万円となりました。

これは主に、利益剰余金が90百万円、その他有価証券評価差額金が8百万円増加したことによるものであります。

なお、自己資本比率は前事業年度末に比べ2.8ポイント減少し84.9%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

現金及び現金同等物(以下「資金」という)の第2四半期会計期間末残高は、4,817百万円(前事業年度末4,490百万円)となりました。

これは、営業活動、投資活動、財務活動によるキャッシュ・フローの合計が327百万円増加したことによるものであります。

なお、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## [営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動による資金は、403百万円の増加(前年同期は241百万円の増加)となりました。

これは主に、たな卸資産の増加174百万円、法人税等の支払63百万円による減少があった一方で、仕入債務の増加281百万円、税引前四半期純利益210百万円、減価償却費106百万円による増加があったことによるものであります。

## [投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動による資金は、19百万円の減少(前年同期は163百万円の減少)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出21百万円があったことによるものであります。

## [財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動による資金は、56百万円の減少(前年同期は55百万円の減少)となりました。

これは主に、株主配当金の支払があったことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、工作機械の受注回復の兆しが見える一方、新型コロナウイルス感染症に対する一部地域を対象とした緊急事態宣言が継続されるなど依然として経営環境は予断を許さない状況が続くものと思われま

す。これら状況を踏まえ、2021年12月期の業績予想につきましては、現時点では2021年2月4日に公表しました予想から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,490,179	4,817,317
受取手形及び売掛金	2,130,233	2,067,785
製品	44,065	63,840
仕掛品	538,488	585,487
未成工事支出金	134,226	227,281
原材料及び貯蔵品	392,684	407,630
その他	42,465	71,537
貸倒引当金	△6,405	△6,224
流動資産合計	7,765,937	8,234,654
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,552,759	2,565,647
減価償却累計額	△1,911,345	△1,938,711
建物(純額)	641,413	626,935
機械及び装置	2,409,379	2,453,995
減価償却累計額	△1,884,631	△1,929,222
機械及び装置(純額)	524,747	524,773
土地	1,604,963	1,604,963
その他	1,044,271	1,067,110
減価償却累計額	△903,454	△918,967
その他(純額)	140,817	148,142
有形固定資産合計	2,911,942	2,904,814
無形固定資産	53,507	47,499
投資その他の資産		
投資有価証券	288,394	300,173
その他	455,260	479,910
投資その他の資産合計	743,655	780,083
固定資産合計	3,709,105	3,732,398
資産合計	11,475,043	11,967,052

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	691,455	979,205
未払法人税等	85,828	103,849
引当金	51,737	51,696
その他	216,964	270,196
流動負債合計	1,045,985	1,404,947
固定負債		
退職給付引当金	316,548	334,078
役員退職慰労引当金	18,380	22,570
その他	35,017	47,955
固定負債合計	369,946	404,603
負債合計	1,415,932	1,809,551
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,507,500	2,507,500
資本剰余金	3,896,954	3,896,954
利益剰余金	3,881,870	3,972,070
自己株式	△198,023	△198,088
株主資本合計	10,088,301	10,178,436
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△29,190	△20,935
評価・換算差額等合計	△29,190	△20,935
純資産合計	10,059,111	10,157,500
負債純資産合計	11,475,043	11,967,052

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	3,270,195	3,131,402
売上原価	2,662,512	2,490,629
売上総利益	607,683	640,772
販売費及び一般管理費	427,301	446,973
営業利益	180,381	193,799
営業外収益		
受取利息	176	98
受取配当金	5,603	6,851
保険配当金	-	4,669
受取ロイヤリティー	2,700	2,760
その他	2,106	6,561
営業外収益合計	10,586	20,941
営業外費用		
売上割引	2,850	2,482
電力契約変更費用	-	1,955
その他	257	191
営業外費用合計	3,107	4,629
経常利益	187,860	210,111
特別利益		
固定資産売却益	999	252
特別利益合計	999	252
特別損失		
投資有価証券評価損	119,073	-
固定資産除却損	108	0
特別損失合計	119,182	0
税引前四半期純利益	69,678	210,363
法人税、住民税及び事業税	5,683	80,434
法人税等調整額	12,410	△11,015
法人税等合計	18,094	69,418
四半期純利益	51,584	140,944

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	69,678	210,363
減価償却費	107,171	106,338
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△941	△180
引当金の増減額 (△は減少)	△15,158	△40
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	18,787	17,530
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△17,762	△9,823
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△14,910	4,190
受取利息及び受取配当金	△5,779	△6,950
固定資産売却損益 (△は益)	△999	△252
固定資産除却損	108	0
投資有価証券評価損益 (△は益)	119,073	-
売上債権の増減額 (△は増加)	350,689	62,319
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,588	△174,774
仕入債務の増減額 (△は減少)	△104,215	281,101
前払費用の増減額 (△は増加)	20,800	△16,741
その他	△143,090	△13,852
小計	379,861	459,225
利息及び配当金の受取額	5,790	6,960
法人税等の支払額	△144,512	△63,084
営業活動によるキャッシュ・フロー	241,139	403,102
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△156,853	△21,540
有形固定資産の売却による収入	1,000	445
無形固定資産の取得による支出	△10,092	△1,446
その他	2,396	2,961
投資活動によるキャッシュ・フロー	△163,549	△19,581
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△50,612	△50,826
その他	△5,257	△5,557
財務活動によるキャッシュ・フロー	△55,870	△56,383
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	21,719	327,137
現金及び現金同等物の期首残高	3,713,532	4,490,179
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,735,252	4,817,317

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	減速機 関連事業	駐車場装置 関連事業	室内外装品 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,693,796	1,455,573	120,825	3,270,195	—	3,270,195
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21,352	—	—	21,352	△21,352	—
計	1,715,148	1,455,573	120,825	3,291,547	△21,352	3,270,195
セグメント利益又は損失(△)	108,615	82,436	△10,669	180,381	—	180,381

(注)1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	減速機 関連事業	駐車場装置 関連事業	室内外装品 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,709,309	1,321,543	100,549	3,131,402	—	3,131,402
セグメント間の内部売上高 又は振替高	52,558	—	—	52,558	△52,558	—
計	1,761,867	1,321,543	100,549	3,183,961	△52,558	3,131,402
セグメント利益又は損失(△)	126,430	79,101	△11,732	193,799	—	193,799

(注)1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。